

# 菊陽人 りさーち



ひろの もえ  
**廣野 萌さん (10歳)**  
[三里木北]

- 将来の夢  
看護師
- 自慢  
2段跳びがいっぱいできること
- 今一番やりたいこと  
一輪車
- みんなに伝えたいこと  
ピアノ教えて～!

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



なかみつ ひなこ  
**中満 陽名子さん (9歳)**  
[杉並台]

- 趣味  
ケイドロ
- 将来の夢  
歯医者さん
- 自慢  
倒立ブリッジ
- みんなに伝えたいこと  
英語教えて～!

# ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権  
作文シリーズ  
【No.27】

みんなでからだ動かしをして一緒に過ごすのは心が満足する時間なんですね。  
\*◇印は担任のコメントです。  
\*作者の学年は前年度の在籍学年となります。

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎232-2113

本当は「遊ぼう」って誘ってみたい。

「友だち」について  
菊陽北小学校5年 平野 愛

私は友だちについて勉強しました。まず、友だちってなんだろう？どんなのが友だちだろう？たくさん考えました。  
・いっしょに遊ぶこと  
・いっしょにいるとうれしい気持ちになること  
・いけないことを注意できることです。



▲遊ぼう

私は、今までクラスの人にされてい  
やだった  
ことがあ  
ります。  
近くをと  
おるとコ  
ソコソ話  
をされた  
り、いや  
なことが  
書かれた  
メモをも  
らったこ  
ともあり  
ました。「  
いや」つ  
て言えな  
かったけ  
ど、もう  
五年生に  
なったか  
ら、いや  
なことか  
ら逃げた  
くありません。  
今までの  
私は、い  
やなこと  
があると  
かかれた  
り、友だ  
ちから注  
意されると

すぐおこったりしていました。でも、それは自分がされてもうれしくないことだと分かりました。本当は私から「遊ぼう」って誘ってみたいし、自分ができることは、友だちにして楽しい気持ちにしてあげたいです。そしたらみんなもよろこぶと思います。  
そして、五年生になって男子といっしょにサッカーをするようになって嬉しかったから、今度から、友だちが遊んでいたら「かたらせて」と言っただけよくなりたいです。

五年生のみんなはやさしくて友だちをほめてくれる人です。そんな友だちと仲良くしていきたいし、高学年として、みんなをひっぱっていきたいです。おとなになるまえに今がんばらなくちゃいけません。みんなは勉強をよくがんばっているから、私もたくさんがんばってみんなの力になってあげたいです。

◇今までの自分とこれからの自分を見つめ、一つひとつ整理して、友だちへの思いを伝えることができました。そのことで、素直になれる喜びと友だちの大切さに気づいたと思います。



## きくよう文芸

### 菊陽句会報

紛争の絶えぬ地球や春は逝く 手に触れむうす衣雲のおぼろかな	坂本百合子	遠来の卒寿の友と春惜しむ 殉教地春の落ち葉の朱を深く	吉野 早苗
母の日や母恋ふ仔牛甘え鳴く つらふるも湯の宿阿蘇の水清し	田中 郁子	児が飛ばす紙飛行機や松の芯 古たんす母の袷に香の残る	井上久美子
薫風をくぐり自転車女高生 万緑の山峰々に神宿る	村田 正三	学校の休みも好きと一年生 夫の誘ふ桜トンネル謳歌せり	宮川ユキエ
灯のゆらげばほのと葛桜 長閑さや義姉と談笑夫の故郷	井 子文	先ず供花に初咲きあやめ濃紫 野遊びや寝転び草と日の匂ひ	日高 妙子
藤の花白磁の里の風揺らし 忘れ物春雷の中引き返す	財津 早雪	惚けるなど散りゆく桜言いのこす 夫の手も借りて芽山椒摘み急ぐ	曾我 育代
歓迎遠足ワイワイドキドキ怪我するな 愛をしき鈴蘭小さき鉢にあげ	原野レイ子		曾我トモ子
	力 幸子		紫藤 祥子
	寺尾千代子		村上 朋子
	高橋 孝子		野口 令史
	佐藤 航		松橋 強
	佐藤 健		佐藤 澄世
	佐藤 節		

### 短歌会

木犀の若葉伸び出で古き葉は風に吹かれて庭に散りゆく  
草丈の伸びるあぜ草刈る汝は手足の力を少し抜きたり  
大地震に浪狂ひ立ちし北国に春はまだ来ず雪降るといふ  
アルバムに写りし友は又ひとり欠けて行きたり桜舞ふ下に  
石に座し魚釣る人の一人あり川面は初夏の光返せり  
吾が庭の梅の木下に咲き出でて黄菖蒲は今年も庭を彩る  
面影を残して集う同窓会五十年の時を顔に刻みて  
夜半の雨四月の朝に雫して花がらを摘む指の冷たさ  
薄明の窓より雲雀の揚る声目覚めに香るコーヒーを飲む

- 今村 貞子
- 梅田 國雄
- 河北 幸一
- 菊川あさみ
- 佐藤せい子
- 下田 久子
- 中村トシエ
- 森 敦子
- 山川 カツ

### すいか おおきくなるといいなあー

白鈴保育園 5歳 吉村 葉那  
パパとママとりせとはなちゃんやさいをうえた。  
なすびとトマトとすいかと・・いろいろうえた。  
はなちゃんがすいかをうえてたとき、ピーマンとかうえるとちゅうだったからママが「まだ うえんで」っていった。  
「みんなで うえれてよかったね」っていったよ。  
「はやく すいかたべたい！」っていったら「まだ まだよ」っていわれた。



▲笑顔!



▲やさい植えたよ

◇家族で野菜を植えたときの楽しい様子が絵を描いているときからよくわかりました。「大きなスイカになってみんなで食べたい」そんな思いが絵にも表れています。またお話を聞かせてください。